

カリキュラム Curriculum	人文学研究科MC		ナンバリング Numbering	HUMJL5015J
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
10206	日本語学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Linguistics III>			
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
日本語学	小木曾 智信(OGISO Toshinobu)・宮地 朝子(MIYACHI Asako)	春学期 (Spring semester)	集中：限	
講義題目 Title				
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	特になし。			
授業の目的 Purpose	<p>昨今、コーパスにもとづいた言語の研究が注目を集めている。コーパスとはコンピュータに蓄えられた大規模な言語資料のことで、これにより従来、行うことのできなかった研究が可能になった。日本語学においてもコーパスを活用した研究が進み、研究の基本資料として欠かせないものになりつつある。</p> <p>この講義では、日本語コーパスを利用した研究を行うための基本的な知識・技術を身につけることを目的とし、最終的に各自の研究課題にコーパスを応用することができるようになることを目標とする。</p> <p>Recently, the corpus-based study of languages has attracted much attention. Corpora are large amount of linguistic materials stored in computer, which makes it possible to conduct research that was previously impossible. In the field of Japanese linguistics, corpus-based research is advancing and corpora are becoming essential materials for research.</p> <p>The purpose of this course is to acquire basic knowledge and skills for conducting research using the Japanese corpora, and ultimately to enable students to apply the corpus to their research subjects.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>下記の通り、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』と『日本語歴史コーパス』を中心に日本語のコーパスの設計と関連技術、利用方法、活用するための統計的指標や手法等について講義する。その後、コーパスを使って各自の課題について調査する実習・調査報告を行い、最終的にレポートを完成させる。</p> <p>第1回～第11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語コーパスの概要 ・コーパスの設計 ・コーパスの形態論情報と形態素解析 ・コーパス検索ツール「中納言」の利用 ・検索結果の集計と分析（表計算ソフトとピボットテーブル） ・データの加工と集計（文字列関数・正規表現の活用） ・統計的指標の活用（コロケーション強度・特徴語抽出） <p>第12回～第13回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートテーマの選定と調査実習 <p>第14回・第15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を元にした調査報告 ・レポートの作成と質疑 			
教科書 テキスト Textbooks	特定の教科書は使用しない。Webページ等の形で提示するほか、必要に応じてプリントを配布する。			

<p>参考書 References</p>	<p>山崎誠 編『講座日本語コーパス 書き言葉コーパス 設計と構築』 朝倉書店 2014年 ISBN:978-4-254-516029 石川慎一郎 著『ベーシックコーパス言語学 = A Basic Guide to Corpus Linguistics』 ひつじ書房 2014年 ISBN:9784894765474 前川喜久雄 編『講座日本語コーパス コーパス入門』 朝倉書店 2014年 ISBN:9784254516012</p>
<p>受講生の 自宅学習 Preparation and review</p>	<p>授業で解説したコーパスの利用方法の復習と、コーパスを活用したレポートテーマの検討、レポートテーマに関する調査等を行う。</p>
<p>成績評価の 方法と基準 Evaluation</p>	<p>授業への参加状況（取り組みの積極性）（40％）と期末レポート（60％）を総合して評価する。 60点以上を合格とする。</p>
<p>連絡方法 Contact information</p>	<p>開講時に連絡用のメールアドレスを提示する。</p>